

経営比較分析表（令和6年度決算）

山形県 遊佐町

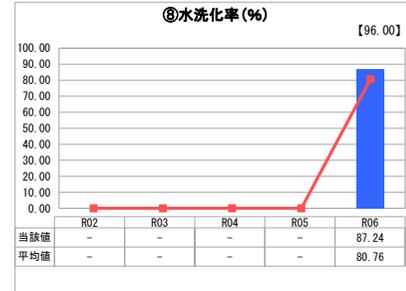
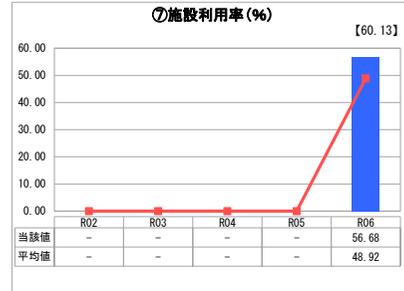
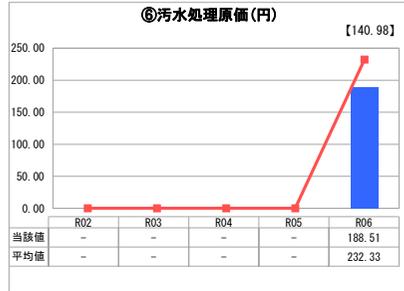
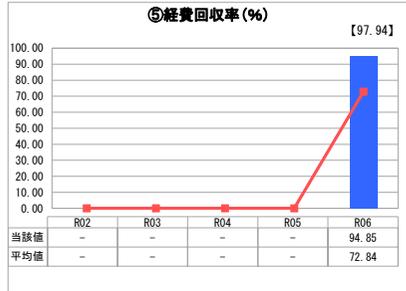
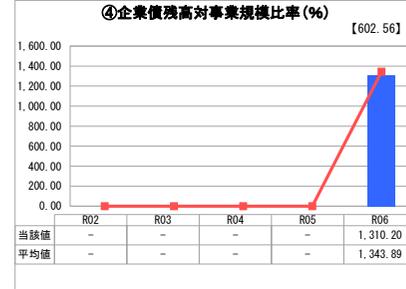
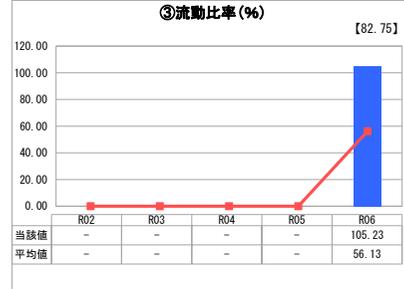
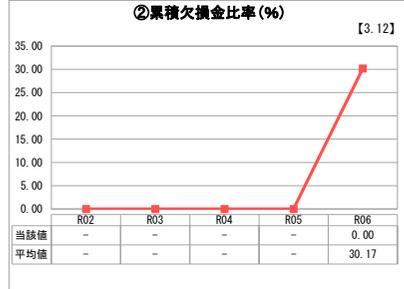
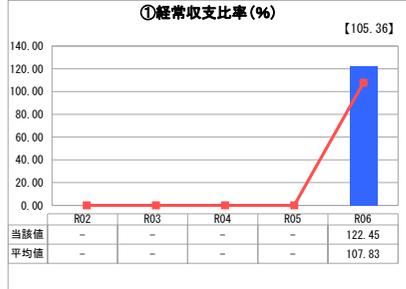
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	78.41	44.84	93.38	3,740

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
12,157	208.39	58.34
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
5,400	3.44	1,569.77

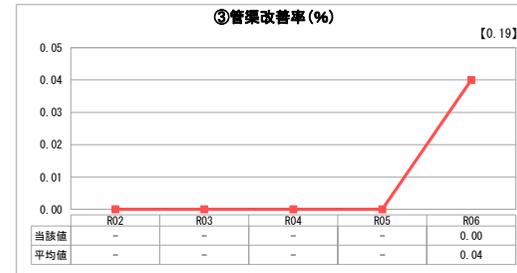
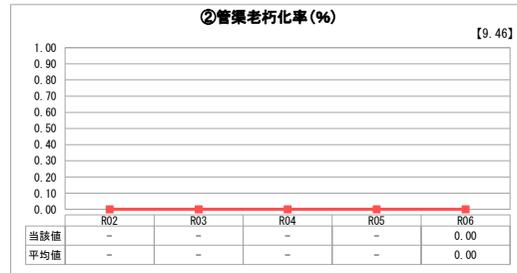
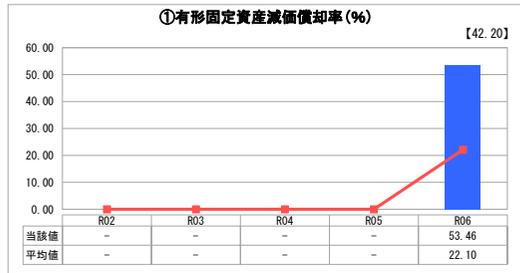
グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は、使用料収入だけでは賄いきれない費用を一般会計繰入金で補っているため、黒字を確保しています。

② 流動比率は類似団体平均を大きく上回り、資金繰りの安全性は確保されていますが、更新工事の増加により資金需要が変動しやすい状態のため、資金計画の精度向上に努めます。

③ 企業債残高対事業規模比率は類似団体平均と同程度であり、更新需要の増加を見据え、発行と償還の平準化を図ります。

④ 経費回収率は類似団体平均を上回り、全国平均に近い水準となっていますが、汚水処理費を使用料で回収できていない状況となっているため、費用の見直しとともに、使用料体系や接続促進の取組の効果を継続的に検証します。

⑤ 汚水処理原価は類似団体平均より抑えられている一方、処理量の減少により固定費負担が相対的に増えやすい点に留意が必要です。

⑥ 施設利用率は、処理場を特定環境保全公共下水道事業と共用していることで高めに表れております。運転条件の最適化や電力使用量の抑制など、運転管理の効率化に努めます。

⑦ 水洗化率は類似団体平均を上回っていますが、今後も未接続解消に向けた周知を継続して進めます。

2. 老朽化の状況について

① 類似団体と比較して高い数値となっていますが、これは減価償却累計額を引き継いで法適用したためです。実態に即した資産評価方法を採用しており、有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかが、一目でわかるようになっています。法定耐用年数に近い資産が増えてきており、施設の改善等の必要性が高まっているところです。ストックマネジメント計画に基づき、引き続き下水道施設の改築更新を進めていきます。

全体総括

急速な人口減少に伴うサービス需要の減少により、使用料収入は減少してまいります。これにより、経常収益も減少していくため、一般会計繰入金に頼らざるを得ない状況が続きます。

また、近年の職員給与費の増加や物価高騰により、経常費用も増加してまいります。結果として、経常収支比率は悪化するところになり、経費回収率も100%を下回る状況が続きます。

令和6年度に公営企業会計へ移行し、経営成績や財政状況、固定資産の老朽化等も把握できるようになりました。実際に老朽化は進んでおり、更新需要は増大しています。建設改良費が増加するため、その財源となる企業債の発行も増加してまいります。

この5年間で、企業債現在高は約18億円減少しました。引き続き、経営改善を図り、下水道事業を継続させていきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。